

いのちの教育

～ 釜石市立鵜住居小学校の取り組み ～

釜石市立鵜住居小学校
教諭 沖 拓

1 目標

防災教育を通して育てたい子ども

- ① 命を大切にする子
- ② 震災・津波の体験を語り継ぐことのできる子
- ③ これからの釜石の再生・復興に力をつくし、未来を創ろうとする子

2

2 今年度の取り組み

【通年】

- ・毎月11日を「命を大切にする日」とし、「防災だより」をもとに全校で指導。
 - ・児童の心のケアの推進(担任・養護教諭・SC)。
- 【4月】校内研→防災教育の経緯・方向性確認
【6月】校内研→防災教育の具体的な進め方確認
- ・全職員の共通理解の場。
 - ・「釜石市津波防災教育のための手引き」の活用の仕方を知る。

3

2 今年度の取り組み

【6月～12月】防災教育授業の取り組み

- ・1年生… 5時間(生活、音楽、学活、体育)
 - ・2年生… 6時間(生活、音楽、学活)
 - ・3年生…15時間(総合的な学習の時間)
 - ・4, 5, 6年生…20時間(総合的な学習の時間)
- ⇒年間指導計画に基づき、**児童の実態、地域の状況等を考慮しながら実施。**
- 【1月】校内研→今年度の実践交流と反省
・次年度の年計の見直し

4

2 今年度の取り組み

学習を通して作成したものや児童の感想等を蓄積し、後に防災教育の資料として活用する。

震災からの期間	児童の様子	防災教育の学習方法
震災直後から5年後くらいまで	・震災を経験し、記憶もある。	・「命の大切さ」「震災・津波の体験」「復興への思い」「支援への感謝」など、自分たちが思っていることや伝えたいことを形にして表し、残す。
5年後くらいからその後	・震災を経験しているが、記憶がない。 ・震災を経験していない。	・先輩たちが残してきた資料を活用し、震災時の様子や被災者の思い、復興への道筋などを学んでいく。

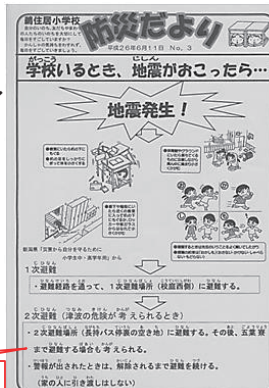
5

3 実践例(1)防災だより

【進め方】

- ・防災教育担当が作成した「防災だより」を、毎月11日にクラスで読み、防災について話し合う。
- ・「防災だより」を家に持ち帰り、家の人と読み合いながら、防災について家族で一緒に話し合う。

県教委「いきる・かかわる・そなえる」を活用

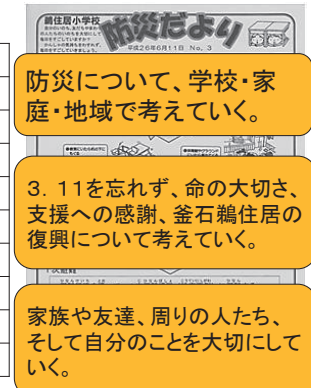


6

3 実践例(1)防災だより

【項目】

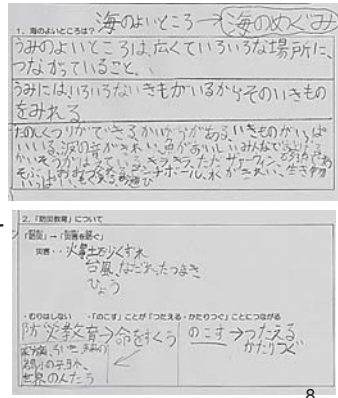
4月	めあて・進め方
5月	各地区での避難路の確認
6月	学校での避難路の確認
7・8月	大雨・台風災害
9月	特別警報
10月	大雨・雷・竜巻
11月	緊急地震速報のしくみ
12月	緊急地震速報の活用
1・2月	心のケア・3.11の迎え方
3月	校長先生からのお話



7

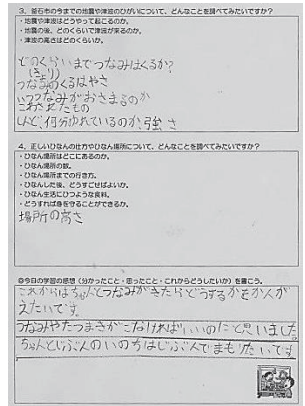
4 実践例(2)3学年「津波から身を守ろう」

- ①オリエンテーション (1時間)
- ・海の良いところを出し合う。
 - ・地域に住まう文化としての防災教育を理解する。
 - ・防災教育の意義について理解する。



4 実践例(2)3学年「津波から身を守ろう」

- ・学年テーマを知る。
- ・今年度、学習してみたいことを考える。
- ・感想を書く。



4 実践例(2)3学年「津波から身を守ろう」

②釜石の津波の歴史と被害を知ろう(2時間)



釜石市津波防災教育のため
の手引きを活用

4 実践例(2)3学年「津波から身を守ろう」

③学校にいる時の避難場所を調べ、マップを作ろう(11時間)

(1)どんなマップを作りたいか考える。

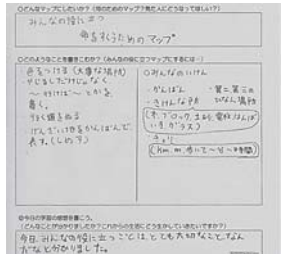
年	学年	まじりか・自治体	津波の高さ	避難場所	避難場所の人数
1921年	118	明治三陸	津波	両石	6700人
1933年	81	昭和三陸	津波	両石	400人
1952年	62	十月赤いしん	津波	2.5m	
1960年	54	チいしん	津波	釜石	140人
1994年	20	宮城沖地しん	津波	2.5m	
1994年	20	三陸はるか沖地しん	津波	2.5m	

(2)校舎内での危険ポイントを探す

4 実践例(2)3学年「津波から身を守ろう」

③学校にいる時の避難場所を調べ、マップを作ろう(11時間)

(1)どんなマップを作りたいか考える。



(2)校舎内での危険ポイントを探す



県教委「きえる・かかわる・そなえる」を活用

4 実践例(2)3学年「津波から身を守ろう」

(3)避難場所までの道の調査



4 実践例(2)3学年「津波から身を守ろう」

(4)グループでまとめる



4 実践例(2)3学年「津波から身を守ろう」

(5)マップにまとめる



4 実践例(2)3学年「津波から身を守ろう」

(5)マップにまとめる



5 成果と課題

- (1)「防災だより」全校での継続的な指導。
- (2)年間の見通しを持って推進。
 - 全職員での共通理解の場の設定。
 - 震災からの経過年数や地域、児童の状況に応じて、指導内容を変化させる必要。
 - だれでも指導できる体制作り必要。

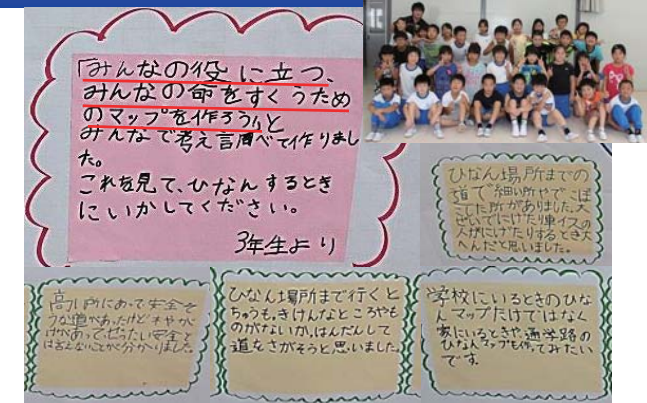
17

5 成果と課題

- (3)子どもたちの前向きな心。
 - 子どもたちの思いを表現させる場の設定。
- (4)心のケアが必要な児童への配慮。
 - オリエンテーションを大切に。
 - 無理させない。
 - 複数で指導し、様子を把握する。
- (5)他教科との関連性。

18

6 おわりに



19